

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。また、外国為替予約取引等の運用にあたっては、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメント・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）



第45期（決算日：2017年6月5日）
 第46期（決算日：2017年7月4日）
 第47期（決算日：2017年8月4日）
 第48期（決算日：2017年9月4日）
 第49期（決算日：2017年10月4日）
 第50期（決算日：2017年11月6日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）」は、去る11月6日に第50期の決算を行いましたので、法令に基づいて第45期～第50期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	達 配	期 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
21期(2015年6月4日)	10,089	45	45	1.6	91.1	—	405
22期(2015年7月6日)	9,864	45	45	△1.8	93.7	—	351
23期(2015年8月4日)	9,724	45	45	△1.0	95.1	—	342
24期(2015年9月4日)	9,326	45	45	△3.6	93.9	—	304
25期(2015年10月5日)	9,221	45	45	△0.6	88.9	—	287
26期(2015年11月4日)	9,253	45	45	0.8	90.4	—	287
27期(2015年12月4日)	9,107	45	45	△1.1	91.6	—	270
28期(2016年1月4日)	8,634	45	45	△4.7	90.1	—	221
29期(2016年2月4日)	8,200	45	45	△4.5	88.7	—	211
30期(2016年3月4日)	8,040	45	45	△1.4	92.4	—	205
31期(2016年4月4日)	8,182	45	45	2.3	89.5	—	179
32期(2016年5月6日)	7,859	45	45	△3.4	90.0	—	163
33期(2016年6月6日)	7,329	45	45	△6.2	92.7	—	152
34期(2016年7月4日)	7,317	45	45	0.5	92.2	—	152
35期(2016年8月4日)	7,092	45	45	△2.5	91.5	—	145
36期(2016年9月5日)	7,341	45	45	4.1	92.0	—	151
37期(2016年10月4日)	6,984	45	45	△4.3	94.3	—	137
38期(2016年11月4日)	6,852	45	45	△1.2	89.8	—	132
39期(2016年12月5日)	6,551	45	45	△3.7	87.1	—	124
40期(2017年1月4日)	6,549	25	25	0.4	95.3	—	120
41期(2017年2月6日)	6,451	25	25	△1.1	86.2	—	112
42期(2017年3月6日)	6,858	25	25	6.7	84.1	—	114
43期(2017年4月4日)	7,067	25	25	3.4	83.0	—	118
44期(2017年5月8日)	7,091	25	25	0.7	90.3	—	119
45期(2017年6月5日)	7,017	25	25	△0.7	90.0	—	118
46期(2017年7月4日)	7,575	25	25	8.3	94.6	—	127
47期(2017年8月4日)	7,492	25	25	△0.8	95.5	—	126
48期(2017年9月4日)	7,518	25	25	0.7	93.1	—	127
49期(2017年10月4日)	7,536	25	25	0.6	93.2	—	133
50期(2017年11月6日)	7,154	25	25	△4.7	90.0	—	120

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第45期	(期 首) 2017年5月8日	円 7,091		% —	% 90.3		% —
	5月末	7,044		△0.7	90.1		—
	(期 末) 2017年6月5日	7,042		△0.7	90.0		—
第46期	(期 首) 2017年6月5日	7,017		—	90.0		—
	6月末	7,619		8.6	94.7		—
	(期 末) 2017年7月4日	7,600		8.3	94.6		—
第47期	(期 首) 2017年7月4日	7,575		—	94.6		—
	7月末	7,568		△0.1	95.4		—
	(期 末) 2017年8月4日	7,517		△0.8	95.5		—
第48期	(期 首) 2017年8月4日	7,492		—	95.5		—
	8月末	7,602		1.5	94.9		—
	(期 末) 2017年9月4日	7,543		0.7	93.1		—
第49期	(期 首) 2017年9月4日	7,518		—	93.1		—
	9月末	7,588		0.9	91.8		—
	(期 末) 2017年10月4日	7,561		0.6	93.2		—
第50期	(期 首) 2017年10月4日	7,536		—	93.2		—
	10月末	7,057		△6.4	92.0		—
	(期 末) 2017年11月6日	7,179		△4.7	90.0		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について （第45期～第50期：2017/5/9～2017/11/6）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第45期首：7,091円
 第50期末：7,154円
 （既払分配金 150円）
 騰落率：3.0%
 （分配金再投資ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

(第45期～第50期：2017/5/9～2017/11/6)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・ 当作成期首から2017年6月下旬にかけては、中央銀行が政策金利の引き上げを終了する可能性を示唆したことなどを背景に、10年債利回りで見るとメキシコ金利は低下しました。
- ・ その後は、9月下旬にかけてメキシコ金利はレンジ内で推移したものの、10月に入ると、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉の協議が難航するとの懸念や、2018年に実施されるメキシコ大統領選挙を巡る不透明感が高まったことなどを背景に、メキシコ金利は上昇しました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、メキシコ金利はほぼ横ばいとなりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

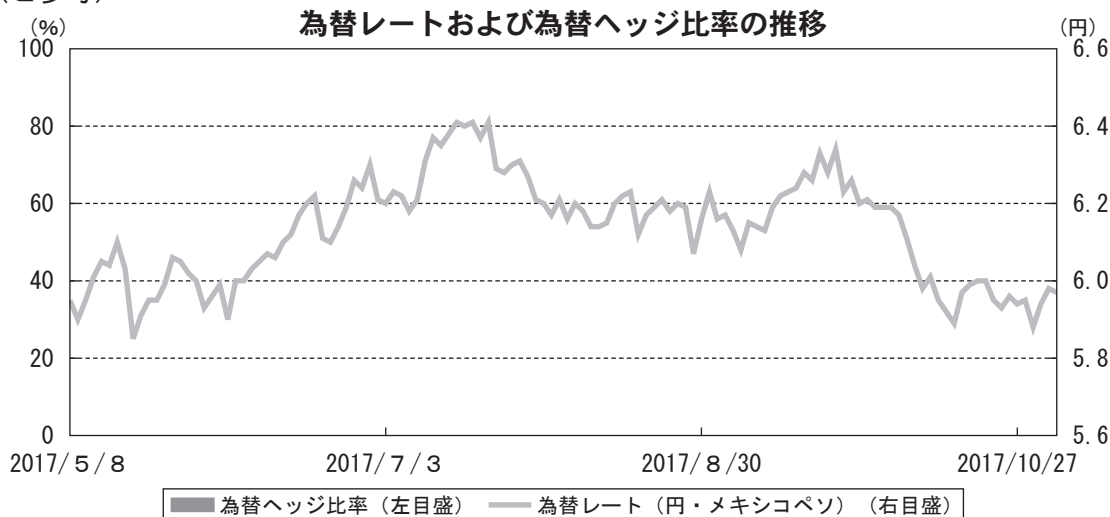
- ・ 当作成期首から2017年7月半ばにかけては、中央銀行が政策金利の引き上げを実施したことや、6月に実施された重要州の州知事選挙で与党候補が勝利したことなどが影響し、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・ その後、メキシコペソは、欧米の金融政策に対する不透明感や北東アジア地域の地政学的なリスクに対する懸念が高まったことや、前述のNAFTA再交渉や2018年の大統領選挙を巡る懸念が高まったことなどを背景に、10月下旬にかけて対円で下落しました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替アクティブヘッジ〉（毎月決算型）〉

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ債券を高位に組み入れるとともに、実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整しました。
- ・当作成期は、グローバルリスク、新興国リスク、メキシコリスクが低位で推移したことから為替ヘッジ比率を0%の水準で当作成期末まで維持しました。その結果、当作成期を通じて見ると、為替アクティブヘッジ戦略は為替ヘッジを実施しなかった場合と比べて基準価額への影響は同程度となりました。
- ・債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

（ご参考）



（注）為替ヘッジ比率は、ファンドが保有するメキシコペソ建て資産（キャッシュ含む）に対する割合を簡便的に計算したものです。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

- ・基準価額は当作成期首に比べ4.0%の上昇となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

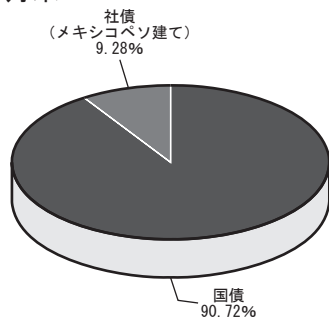
- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

◎金利戦略

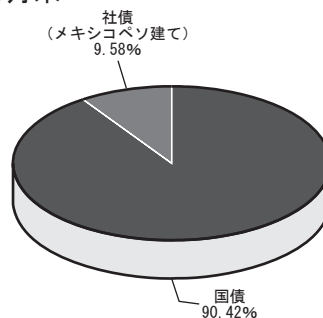
- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（ご参考）

種別別組入比率 2017年4月末



2017年10月末



（注）比率は現物債券評価額に対する割合です。

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ> (毎月決算型)

(ご参考)

利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)

2017年4月末

2017年10月末

最終利回り	7.36%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	7.36%
直接利回り	6.83%
デュレーション	5.72年



最終利回り	7.43%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	7.43%
直接利回り	6.97%
デュレーション	5.41年

- ・データはF I Lインベストメンツ・インターナショナルより提供された運用ポートフォリオベース (現地月末ベース) のものです。
 - ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 - ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
 - ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
 - ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアムやコスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアムやコストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

債券の格付分布

作成期首 (2017年5月8日)

作成期末 (2017年11月6日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	91.6%	12
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0



格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	91.9%	11
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
- ・AAA格 (AAA、Aaa)
- ・AA格 (AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3)
- ・A格 (A+、A、A-、A1、A2、A3)
- ・BBB格 (BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3)
- ・BB格 (BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月4日	2017年7月5日～ 2017年8月4日	2017年8月5日～ 2017年9月4日	2017年9月5日～ 2017年10月4日	2017年10月5日～ 2017年11月6日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.355%	0.329%	0.333%	0.331%	0.331%	0.348%
当期の収益	24	25	25	25	25	25
当期の収益以外	0	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	524	538	547	558	569	574

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替アクティブヘッジ〉（毎月決算型）〉

◎今後の運用方針

- ・主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保と債券売買益の獲得をめざす方針です。実質組入外貨建資産については、為替変動や市場全体のリスクの高まり、景気変動等を定量的に捉えて、機動的に為替ヘッジ比率を調整します。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

◎運用環境の見通し

- ・メキシコでは、米国の金融・通商政策の影響などに注意が必要であるものの、今後インフレ率が低下していくと考えられることや、中央銀行が通貨安やインフレ上昇に配慮した金融政策を実施すると予想されることなどから、メキシコ債券市場は安定的に推移していくと見ています。為替市場では、原油価格の回復基調や財政健全化、エネルギー改革などの構造改革の進展がメキシコペソにとってポジティブな要因になると考えます。また、市場の下落時などには中央銀行による通貨の下支えが実施されると期待されることなどから、メキシコペソは安定的に推移すると見ているものの、米国の金融政策による資金流出のリスクなどにはより一層注意が必要であると考えます。

◎今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクの抑制とバリュエーション面等を考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年5月9日～2017年11月6日)

項 目	第45期～第50期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(36)	(0.486)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.380)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.044	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.033)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.932	
作成期中の平均基準価額は、7,413円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年5月9日～2017年11月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第45期～第50期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 10,935	千円 10,940	千口 15,216	千円 15,000

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月9日～2017年11月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年11月6日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第44期末		第50期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
メキシコ債券マザーファンド			123,955		119,674	117,843

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年11月6日現在)

項	目	第50期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
メキシコ債券マザーファンド		117,843	97.5
コール・ローン等、その他		3,067	2.5
投資信託財産総額		120,910	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (2,106,134千円) の投資信託財産総額 (2,116,713千円) に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=114.38円	1 メキシコペソ=5.97円		
------------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末
	2017年6月5日現在	2017年7月4日現在	2017年8月4日現在	2017年9月4日現在	2017年10月4日現在	2017年11月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	118,680,064	128,202,691	127,334,507	128,053,994	134,550,874	120,910,644
コール・ローン等	2,479,807	3,354,432	3,279,287	2,937,324	3,317,570	3,067,241
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	116,200,257	124,848,256	124,055,220	125,116,668	131,233,304	117,843,403
未収利息	—	3	—	2	—	—
(B) 負債	584,496	606,887	617,773	615,125	630,700	619,736
未払収益分配金	420,748	421,094	422,864	423,775	444,253	420,353
未払解約金	—	9,867	—	—	—	—
未払信託報酬	163,335	175,486	194,413	190,874	185,975	198,879
未払利息	4	—	6	—	4	5
その他未払費用	409	440	490	476	468	499
(C) 純資産総額(A-B)	118,095,568	127,595,804	126,716,734	127,438,869	133,920,174	120,290,908
元本	168,299,401	168,437,702	169,145,796	169,510,314	177,701,420	168,141,299
次期繰越損益金	△ 50,203,833	△ 40,841,898	△ 42,429,062	△ 42,071,445	△ 43,781,246	△ 47,850,391
(D) 受益権総口数	168,299,401口	168,437,702口	169,145,796口	169,510,314口	177,701,420口	168,141,299口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,017円	7,575円	7,492円	7,518円	7,536円	7,154円

○損益の状況

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月4日	2017年7月5日～ 2017年8月4日	2017年8月5日～ 2017年9月4日	2017年9月5日～ 2017年10月4日	2017年10月5日～ 2017年11月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 103	△ 118	△ 153	△ 126	△ 121	△ 104
受取利息	—	3	1	2	5	—
支払利息	△ 103	△ 121	△ 154	△ 128	△ 126	△ 104
(B) 有価証券売買損益	△ 646,313	9,903,714	△ 793,036	1,061,674	913,607	△ 5,767,616
売買益	11,384	10,007,998	—	1,061,636	943,064	310,880
売買損	△ 657,697	△ 104,284	△ 793,036	38	△ 29,457	△ 6,078,496
(C) 信託報酬等	△ 163,744	△ 175,926	△ 205,703	△ 191,350	△ 186,443	△ 199,378
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 810,160	9,727,670	△ 998,892	870,198	727,043	△ 5,967,098
(E) 前期繰越損益金	△43,020,350	△43,605,034	△34,298,458	△35,703,554	△34,353,363	△32,032,554
(F) 追加信託差損益金	△ 5,952,575	△ 6,543,440	△ 6,708,848	△ 6,814,314	△ 9,710,673	△ 9,430,386
(配当等相当額)	(3,529,654)	(3,633,939)	(3,679,228)	(3,704,572)	(4,310,836)	(4,131,134)
(売買損益相当額)	(△ 9,482,229)	(△10,177,379)	(△10,388,076)	(△10,518,886)	(△14,021,509)	(△13,561,520)
(G) 計(D+E+F)	△49,783,085	△40,420,804	△42,006,198	△41,647,670	△43,336,993	△47,430,038
(H) 収益分配金	△ 420,748	△ 421,094	△ 422,864	△ 423,775	△ 444,253	△ 420,353
次期繰越損益金 (G+H)	△50,203,833	△40,841,898	△42,429,062	△42,071,445	△43,781,246	△47,850,391
追加信託差損益金	△ 5,952,575	△ 6,543,440	△ 6,708,848	△ 6,814,314	△ 9,710,673	△ 9,430,386
(配当等相当額)	(3,549,571)	(3,641,063)	(3,682,029)	(3,705,811)	(4,329,212)	(4,134,149)
(売買損益相当額)	(△ 9,502,146)	(△10,184,503)	(△10,390,877)	(△10,520,125)	(△14,039,885)	(△13,564,535)
分配準備積立金	5,281,101	5,437,636	5,573,059	5,759,691	5,785,677	5,532,782
繰越損益金	△49,532,359	△39,736,094	△41,293,273	△41,016,822	△39,856,250	△43,952,787

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 168,079,523円
 作成期中追加設定元本額 24,508,687円
 作成期中一部解約元本額 24,446,911円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7154円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は47,850,391円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2017年5月9日～ 2017年6月5日	2017年6月6日～ 2017年7月4日	2017年7月5日～ 2017年8月4日	2017年8月5日～ 2017年9月4日	2017年9月5日～ 2017年10月4日	2017年10月5日～ 2017年11月6日
費用控除後の配当等収益額	412,922円	654,751円	558,287円	613,006円	617,880円	513,542円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	3,549,571円	3,641,063円	3,682,029円	3,705,811円	4,329,212円	4,134,149円
分配準備積立金額	5,288,927円	5,203,979円	5,437,636円	5,570,460円	5,612,050円	5,439,593円
当ファンドの分配対象収益額	9,251,420円	9,499,793円	9,677,952円	9,889,277円	10,559,142円	10,087,284円
1万口当たり収益分配対象額	549円	563円	572円	583円	594円	599円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金金額	420,748円	421,094円	422,864円	423,775円	444,253円	420,353円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額、および当ファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、当ファンドの信託財産の純資産総額に対し年10,000分の19.5以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
1万口当たり分配金 (税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っています場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2017年8月8日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

メキシコ債券マザーファンド

《第9期》決算日2017年11月6日

[計算期間：2017年5月9日～2017年11月6日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、11月6日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I Lインベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
5期(2015年11月4日)	11,307	△1.7%	91.7%	—	1,581
6期(2016年5月6日)	9,502	△16.0%	93.1%	—	972
7期(2016年11月4日)	8,608	△9.4%	94.4%	—	769
8期(2017年5月8日)	9,472	10.0%	91.6%	—	2,508
9期(2017年11月6日)	9,847	4.0%	91.9%	—	2,116

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円					%			%
	2017年	5月	8日	9,472		—		91.6			—
		5月末		9,421		△0.5		91.9			—
		6月末		10,257		8.3		96.8			—
		7月末		10,237		8.1		97.7			—
		8月末		10,335		9.1		96.9			—
		9月末		10,365		9.4		93.7			—
		10月末		9,673		2.1		94.2			—
	(期 末)										
	2017年	11月	6日	9,847		4.0		91.9			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・期首から2017年6月下旬にかけては、中央銀行が政策金利の引き上げを終了する可能性を示唆したことなどを背景に、10年債利回りで見るとメキシコ金利は低下しました。
- ・その後は、9月下旬にかけてメキシコ金利はレンジ内で推移したものの、10月に入ると、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉の協議が難航するとの懸念や、2018年に実施されるメキシコ大統領選挙を巡る不透明感が高まったことなどを背景に、メキシコ金利は上昇しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコ金利はほぼ横ばいとなりました。

◎為替市況

- ・期首から2017年7月半ばにかけては、中央銀行が政策金利の引き上げを実施したことや、6月に実施された重要州の州知事選挙で与党候補が勝利したことなどが影響し、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・その後、メキシコペソは、欧米の金融政策に対する不透明感や北東アジア地域の地政学的なリスクに対する懸念が高まったことや、前述の

NAFTA再交渉や2018年の大統領選挙を巡る懸念が高まったことなどを背景に、10月下旬にかけて対円で下落しました。

- ・ 期を通じて見ると、メキシコペソは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・ 現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・ メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えメキシコペソ建て社債を一部組み入れました。

◎金利戦略

- ・ メキシコ国債については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中長期ゾーンを中心に運用しました。
- ・ ポートフォリオ全体で見ると、債券利子収入を享受したことやメキシコペソが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ メキシコでは、米国の金融・通商政策の影響などに注意が必要であるものの、今後インフレ率が低下していくと考えられることや、中央銀行が通貨安やインフレ上昇に配慮した金融政策を実施すると予想されることなどから、メキシコ債券市場は安定的に推移していくと見ています。為替市場では、原油価格の回復基調や財政健全化、エネルギー改革などの構造改革の進展がメキシコペソにとってポジティブな要因になると考えます。また、市場の下落時などには中央銀行による通貨の下支えが実施されると期待されることなどから、メキシコペソは安定的に推移すると見ているものの、米国の金融政策による資金流出のリスクなどにはより一層注意が必要であると考えます。

◎今後の運用方針

- ・ メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクの抑制とバリュエーション面等を考慮し、中長期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年5月9日～2017年11月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	3	0.033	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(3)	(0.033)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、10,048円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年5月9日～2017年11月6日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	メキシコ	千メキシコペソ	千メキシコペソ	
		国債証券	84,753	143,129
		社債券	4,460	9,997

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月9日～2017年11月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年11月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	326,600	325,784	1,944,935	91.9	—	64.7	23.4	3.8
合 計	326,600	325,784	1,944,935	91.9	—	64.7	23.4	3.8

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券						
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	3,400	4,261	25,441	2036/11/20	
	4.75 MEXICAN BONO 180614	4.75	13,800	13,601	81,202	2018/6/14	
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	44,000	40,094	239,361	2026/3/5	
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	17,800	17,487	104,403	2021/6/10	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	43,800	42,842	255,767	2022/6/9	
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	39,500	40,179	239,868	2027/6/3	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	40,600	41,913	250,223	2031/5/29	
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	22,000	22,524	134,472	2020/6/11	
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	37,000	38,664	230,825	2023/12/7	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	29,800	32,546	194,305	2029/5/31	
	普通社債券						
	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	34,900	31,668	189,063	2024/9/12	
合 計					1,944,935		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年11月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,944,935	% 91.9
コール・ローン等、その他	171,778	8.1
投資信託財産総額	2,116,713	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(2,106,134千円)の投資信託財産総額(2,116,713千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=114.38円	1メキシコペソ=5.97円	
-----------------	---------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年11月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,116,713,278
コール・ローン等	124,433,077
公社債(評価額)	1,944,935,870
未収利息	46,132,670
前払費用	1,211,661
(B) 負債	17
未払利息	17
(C) 純資産総額(A-B)	2,116,713,261
元本	2,149,593,587
次期繰越損益金	△ 32,880,326
(D) 受益権総口数	2,149,593,587口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,847円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,648,473,425円
 期中追加設定元本額 512,009,601円
 期中一部解約元本額 1,010,889,439円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9847円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2,029,919,165円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	119,674,422円
合計	2,149,593,587円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は32,880,326円です。

○損益の状況 (2017年5月9日～2017年11月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	86,168,339
受取利息	86,175,661
支払利息	△ 7,322
(B) 有価証券売買損益	63,554,469
売買益	70,597,533
売買損	△ 7,043,064
(C) 保管費用等	△ 838,409
(D) 当期損益金(A+B+C)	148,884,399
(E) 前期繰越損益金	△139,939,563
(F) 追加信託差損益金	△ 16,129,601
(G) 解約差損益金	△ 25,695,561
(H) 計(D+E+F+G)	△ 32,880,326
次期繰越損益金(H)	△ 32,880,326

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2017年8月8日)